

世代を超えて受け継がれる地域の味

◎三島小学校食文化普及講座

会員から赤飯の作り方を教わる児童



1月22日、三島小学校で、「食文化普及講座」が行われました。地元の食文化を伝えるために、鬼北町生活研究協議会が町内小学校等で実施している当講座。この日は、三島小学校5・6年生を対象に行われました。今回は、町内で採れた作物や、愛媛県の特産品等を使い、「赤飯」、「里芋コロッケ」、「豚汁」、「ゆずゼリー」の4品に挑戦。児童たちは、会員らに美味しく作るためのコツを伝授してもらいながら、調理を進めていきました。完成後、「美味しい」と頬張る参加者の笑顔が広がっていました。

住みやすいまちづくりを目指して

◎近永地区循環バス試験運行開始

鬼王丸がラッピングされた循環バス



平成31年度から実施する近永地区循環バスの本格運営に向けて、利用者の需要を把握するために、1月21日から試験運行を開始しました。試験期間終了後、平成31年度から本格導入を行うか検討します。皆さんからのご意見、ご要望をお待ちしています。ぜひ、ご利用ください。
期間：3月20日(水)まで
料金：一律100円(身体障害者手帳、療育手帳および精神障害者保健福祉手帳を有する者およびその介護人は50円)、小学生以下無料
問い合わせ
企画振興課 総合企画係
内線2212

「野球の聖地・愛媛」を目指して…

◎えひめ愛・野球博「わくわく野球体験」

意外と難しいキャッチボール



1月25日、愛媛マングランパイレーツの選手が講師となり、子どもたちに野球の基礎を教える「わくわく野球体験」が開催されました。これは、鬼北町商工会青年部が子どもたちに野球の楽しさを知ってもらい、野球人口の拡大を図ろうと「愛・野球博野球イベント開催事業」の一環として実施したものです。この日は、好藤小学校および好藤保育所で開催されました。まず子どもたちは、選手から優しいアドバイスを受けながらキャッチボールに挑戦。その後、的当てやバッティングにも挑戦し、野球の楽しさを肌で感じていました。

地域が一丸となって守る地元の財産

◎国指定重要文化財善光寺薬師堂防火訓練

水消火器を使って消火訓練



1月26日の文化財防火デーに合わせて、1月25日、国指定重要文化財である善光寺薬師堂「小松」で、文化財防火訓練が行われました。訓練では、自動放水銃の取扱など、善光寺薬師堂に設置してあるさまざまな防火設備の点検を実施。また、水消火器を使った訓練には、近隣住民の人たちや地元消防団の団員らが参加しました。訓練の最後には鬼北消防署の城平副署長が、「訓練を積み重ねるとともに保守点検を定期的に行い、地域の宝を後世に残してほしい」と挨拶し、参加者たちは防火に対する意識を向上させていました。